

二九三九番

恋こひといへば 薄うすきことなり 然しかれども 我あれは忘わすれ
じ 恋こひは死しぬとも

二九四〇番

なかなか 死しなば安やすけむ 出いづる日ひの 入いる別わかけ
知らぬ 我われし苦くるしも

二九四一番

思おもひ遣やる たどきも我われは 今いまはなし 妹いもに逢あはず
て 年としの経へぬれば

二九四二番

我わが背せ子こに 恋こふとにしあらし みどり子この 夜よ
泣なきをしつつ 寝いねかてなくは